

NIFAアクションプラン2018→2022	全体	頁中の	頁
1. 現状の概要と今後の方向性	3種	地区協会 委員会 連盟	
<p>3種としてはチーム・選手登録数は横ばい傾向である。今後も少子化を考えると、選手登録数は大きく伸ばすことは考えにくく、登録数に関しては現状を維持していく。</p> <p>リーグ戦については、軌道にのり、充実したリーグ戦を年間を通じて行うようになった。状況に応じて変更を加え、より良いリーグ戦を行えるようにしていく。</p> <p>【クラブユース連盟の課題】 クラブユース連盟頁参照</p> <p>【中学校体育連盟の課題】</p> <p>中学校運動部活動のサッカー部であり、活動場所、指導者（顧問）は確保されている。しかし、部員数に応じた施設設備が十分整備されているとは言えない場合もある。指導者（顧問）に関しても、専門の指導者がいない学校も多く、日々の指導の充実が図られているとは言えない。リーグ戦などの試合数が増加する中、学校の方針・部活動ガイドラインの設定、保護者の考えで、活動に制限され、思うように活動できない現状もある。</p> <p>そのような中でも北信越大会を勝ち抜き、全国大会に出場するチームは毎年のように出てきているが、ベスト8の壁を超えることができていない。</p>			

NIFAアクションプラン2018→2022	全体	頁中の	頁
2. 中期目標（2030年）	3種	地区協会 委員会 連盟	
<ol style="list-style-type: none"> 選手登録数 3種 5,000人（他種別との連携） 選手以外のサッカーファミリー 保護者及び地域の人たちにクラブ運営の関わってもら環境づくりを推進する。 普及 県リーグのより一層の充実 強化 （中体連）全国中学校体育大会に常に出場し、一つでも多く勝利する。 （クラブ）全国大会出場チームがベスト8の実力を常に備えている。 2種、4種、女子との連携 マナー向上 選手・指導者・保護者が一体となり活動することで、子供を大人にし、大人を紳士にする。 			

NIFAアクションプラン2018→2022	全体	頁中の	頁
3. 長期目標（2050年）	3種	地区協会 委員会 連盟	
<ol style="list-style-type: none"> 選手登録数 3種 6,000人 選手以外のサッカーファミリー 地域に根ざしたクラブ運営に、地域の人たちが関わり、応援する環境が整っている。 普及 リーグ戦が文化となっている。 強化 全国大会出場チームがベスト8以上の実力を常に備えている。 他種別との連携 マナー向上 選手・指導者・保護者が社会貢献の模範となる。 			

NIFAアクションプラン2018→2022					全体 頁中の 頁
4. 現状分析					地区協会 3種委員会 連盟
No. と 事項	2022年具体的目標	2018年における現状	達成度	目標達成へ向けての課題	改善の方策
1 普及	現状維持	チーム登録数 135 選手登録数		リーグ戦の充実	リーグ戦に出場しやすい環境整備
2 普及	リーグ戦の一層の充実	リーグ戦の充実	90%	運営のサポート 中学校3年生の活動期間	緊張感のある試合を継続させる。 年間を通じた試合数の確保
3 教科	全国大会を勝ち抜くベスト8以上	中体連 全中大会 2018年 ベスト16 (1回戦突破) 2017年 出場なし 2016年 ベスト16 (1回戦突破) クラブ (クラブ頁参照)	0%	チーム強化のサポート	強化練習会の実施
事項番号と見出し	事項の中での具体的な目標 明確に、可能であれば数値で	2022年目標に向けての2018年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→	%表記	目標達成のために解決すべき課題	課題を解決、改善のための方策の概要

5. 具体的アクション

3種委員会
連盟
地区協会

No.	誰が	いつ・いつまでに	どこで	何を	どのように
1	3種委員会 中体連専門部 クラブ連盟	機会を見つけ	諸会議などで	チーム・選手登録を リーグ戦の情報を	促す 提供する
2	3種委員会	翌年の3種総会までに	3種総会で	リーグ戦の詳細を 年間を通した活動を	提供し、参加を促す 促す
3	3種技術委員 3種委員会 中体連専門部 クラブ連盟	年間を通じて 大会を通して 機会を見つけ	会場 大会前 大会後	強化練習会を スカウティング 現状について	実施する 実施する 情報を提供する

↑現状分析での事項No.に対応。複数の事項にまたがって、一つの事業で対応することも可能です